

教育振興会だより



令和 5年 3月 1日 発行
上灘地区教育振興会
事務局 上灘小学校内

令和4年度活動報告

- ①教育懇談会の開催 11月16日
テーマ 「上灘教育と大御堂廃寺跡活用」
講師 根鈴智津子 元倉吉市教育委員会文化財課課長
- ②地域ぐるみによる小・中学生の健全育成
○東中学校（上灘地区）保護者教育懇談会 6月
・うわなだ桜まつりへの協力と参加 3・4月
万燈設置・撤去作業にPTA・生徒が参加（40名）
○上灘地区社会福祉協議会との共催事業
・老人クラブとの交流学習会（1・2年生との昔遊び） 中止
・福祉交流会（3・4年生とのもちつき大会） 中止
- ③上灘地区青少年健全育成協議会との共催事業
・自然を楽しむ会中止 ・上灘地区青少年スキー教室 2月
- ④教育諸条件の整備 ・花壇整備 ・花の苗 12月
- ⑤関係諸団体との連携 うわなだ未来塾の実施 11月19日
- ⑥上灘小学校応援隊の充実について
- ⑦子どもたちを守る活動への協力 ・地域安全パトロール
・うわなた110番 協力店募集 ・ステッカー配布
- ⑧写真集「うわなだ 平成から令和へ」の取組について
- ⑨会報第33号の発行 3月
- ⑩その他 通学路の除雪など 1月

令和4年度東中学校 PTA 活動報告

倉吉東中 PTA 上灘小校区支部長会長 森脇幹雄

うわなだ桜まつりは残念ながら開催されませんでした。3月にうわなだ桜まつりの万燈設置、4月に撤去に参加させていただきました。会下谷川沿いに万燈が並び、灯がともる姿をみて、素晴らしい春の夜をたくさんの方々にお届けできたのではないかなと思えました。万燈設置、撤去に参加して下さった生徒たち、そして保護者の皆さんご協力ありがとうございました。

6月の保護者教育懇談会は中止になりました。今年度もコロナウイルスに振り回された一年でありましたが、来年度は桜まつりを皮切りに充実した活動ができることを願っております。

東中学校 学校公開中！是非お出で下さい！

東中学校長 加嶋慎一

9月から毎日、学校を公開しています。来校される際は、コロナ対策にご協力ください。（検温、手指消毒、マスク）

生徒たちはコロナに負けず、元気に学校生活を送っています。学習に一生懸命に取り組む生徒の姿、休憩時間に楽しく遊ぶ姿、部活動に熱心に取り組む姿を見に来てくだ

さい。そして、褒めてやってください。また、必要に応じて、叱ってやってください。生徒は大人の力を求めています。毎日の出来事はホームページで紹介していますので、ぜひご覧ください。



新たな時代へ

上灘地区教育振興会 会長 福井伸一郎

新型コロナウイルスも4年目となってきました。鳥取県民の4人に1人は感染をしたということになります。そんな中でマスク生活も定着してきてしまいました。

コロナ感染症に私たちの日常生活を根本から揺さぶられました。学校も社会も状況に応じて柔軟に対応していくことが求められました。黒板を向いたままの黙食。対面での授業ができないため、教育機器を活用した学習も経験しました。

しかし、対面での学び合い、運動での競い合いこそは、子どもたちの成長にとって、やはりなくてはならぬものです。コロナを恐れず、侮らず、学びの場を保証していきたいものです。

昨年度事業の「上灘に伝わる話し」のDVD化に続き、大きく変



わった昭和後半から平成、そして令和への姿を記録する「うわなだ 平成から令和へ」の事業に取り組んでいます。上灘地区のこの40年を記録し、今の子どもたちの学びに役だてていきます。

「自然を楽しむ会」「雪遊び」事業(活動)報告

上灘地区青少年健全育成協議会会長 山口大助

7月31日(日)大山赤松の池を拠点に「われらわんぱく探検隊！アウトドアを楽しもう♪」と題し自然を楽しむ会を企画しましたが、コロナ感染症拡大のため直前に中止となり非常に残念でした。

2月12日(日)船上山自然の家で「寒さを吹き飛ばせ！雪遊びを楽しもう♪」を実施しました。雪不足の心配もありましたが雪は残っており、汗ばむ陽気のなか、カ一杯雪遊びを楽しみました。

午前はソリ遊びでそれぞれソリやチューブソリ。思いのほか急勾配のコースに怖がってソリに乗ることを躊躇する子もいましたが、最後に恐る恐る友だちと一緒に乗り、周りから沸き起こる拍手の中、滑ることができました。

お昼は食堂で美味しいカツカレー。各班で協力し合い盛り付けや配膳、後片付けをしました。午後の活動に備えれば休憩……。

午後からは各々がソリや雪遊び。友だちと雪合戦。自分の背丈よりも高い雪のタワーを作る親子。そして最後はお楽しみの宝探し！大人も子どもも雪の中に隠してあるガチャケース探しに奔走！見つけたガチャケースの中の番号と引き換えの景品に、笑顔！！

大自然の中での雪遊びの楽しさや寒さに対する忍耐力を身につける事ができました。

また、集団行動の中で親子や子ども達相互の連帯感も培うことが出来ました。

最後に、ご協力して下さいました役員の皆様、地域の皆様有り難うございました。



令和4年度 教育振興会 教育懇談会 報告

11月16日(水)に、教育懇談会を開催しました。今年度は「上灘教育と地域の学習教材」というテーマのもと、27名の方の参加がありました。

まず、上灘小学校和田一進校長先生に、上灘小学校の取り組みを説明していただきました。校長先生の説明と子どもたちの日々の様子の写真も提示していただきました。校長先生の熱意ある説明で、子どもたちが毎日、元気に過ごしている様子がよくわかりました。

次に、作年度本会で作成したうわなだ子ども風土記「金の鶏」のDVDを視聴しました。民話だけでなく、「金の鶏に寄せて」という地域の人の想いも視聴し、民話に関する上灘地区の場所や遺跡等も具体的に知ることができました。

最後に、昭和町在住で元倉吉市文化財課長の根鈴智津子さんに「大御堂廃寺跡整備計画と上灘小学校教育」という演題でご講演をいただきました。上灘地区全体の古くからの地形をもとに、歴史の流れを詳しく説明していただきました。上灘地区の遺跡がとても珍しく、そして、とてもすばらしいものであることが分かりました。また、今後、地域の歴史的な建造物に地域住民が関われるような活動が計画されていることも知ることができました。



地域を再発見！「うわなだ未来塾」

上灘コミュニティセンター 主事 山本 美保子

地域の歴史・文化産業・行事等を再発見し、地域のことが大好きで地域への貢献意欲を持った次世代を担う人材を育成することを目的として始めた「うわなだ未来塾」！なかでも6年生全員を対象とした「うわなだ未来塾～クイズラリーで上灘探検をしよう♪～」は6回目を迎え、今年も上灘小学校と連携し、11月19日(土)に開催しました。

今年、大御堂廃寺跡・県立美術館の建設現場・県立厚生病院・倉吉線上灘駅跡地・上灘小学校発祥の地でもある勝宿禰神社などを探検しました。まず、新たにコースに加わった県立美術館建設現場の探検です。2025年春に開館予定の美術館を想像し、とてもワクワクとした気持ちになりました。次に、人気No.1の県立厚生病院です。コロナ禍の中で「子どもたちの未来のために」と快くご協力くださいました！ヘリポートから見る上灘地区は360度のパノラマ写真。大人気の手術室、地下自家発電設備と普段は入ることの出来ない場所を探検しました。

ゴール地点の上灘コミュニティセンターで「上灘」をテーマに川柳づくり。川柳は、感動させられるものやクスッと微笑ましいものまで様々。上灘コミュニティセンターに展示しています。ご覧ください♪

この事業を行うにあたり、引率、安全確認、ポイントチェック、施設の案内、上灘の歴史等の説明をして下さる方々、そして、うわなだ未来塾運営委員の皆さん…たくさんの地域の方々にご協力いただき、楽しく有意義な時間を過ごすことが出来ました。

これからも、地域と学校・家庭が連携協働して、様々な体験をし、地域の方々に見守られながら健やか育ち、子ども達がふるさとに愛着をもつ大人に成長していくことを願っています。



「上灘小学校教育のめざすもの」

倉吉市立上灘小学校 校長 和田 一進

上灘小学校の教育基本目標は、『やさしさ』と『たくましさ』、『かしこさ』を併せ持つ子どもの育成です。「やさしさ」とは、かかわる人を大切にし、心を痛めた人の心にも寄り添うことのできる人に成長すること、「たくましさ」とは、いろんなことに挑戦し、困難をも乗り越えていける人に成長すること、「かしこさ」とは、能動的に学び育ち合いながら心身共に成長するという事です。

これらの力をつけていくためには、よりよく成長するための「学び」が土台になると考えています。東京大学名誉教授の佐藤学氏は、「学び」を「世界づくり」「仲間づくり」「自分づくり」の三位一体の能動的な実践と捉えています。「世界づくり」とは、対象世界の意味を構成する認知的・文化的実践(いろいろな知識を習得して私たちの世界の意味を理解していくこと)と捉え、「仲間づくり」の人間関係、「自分づくり」の自己発見と密接にかかわっているという考えです。

子どもたちには、「学ぶ」ということは、「わかった、できた、力がついた、またしたい、さらにしたい、さあやろう!」と気づき、考え、実行(実践)することであると伝えてきました。そこには子どもたちが対話をしながら夢中になって考え、没頭する能動的な姿が重要になります。学ぶことはよりよく変わること。ちえが湧き、喜びにつながり、よりよく生きることにつながるのです。

こうした「学び」を土台とし、「やさしさ」と「たくましさ」、「かしこさ」を併せ持つ子どもを育みながら、元気いっぱい、やる気いっぱい、友だち大すきで、学校大すきな上灘っ子に成長できるよう教職員が一丸となって進めていきます。



上灘小学校応援隊100人をめざして

上灘小学校では、子どもたちのより充実した学校生活や学習となるよう、地域ボランティアの皆様にご協力を異なっています。ここ数年は新型コロナウイルス感染症の感染防止のために少なくなっていますが、状況にあわせて人数制限や活動制限をしながら、関わっていただき、本年度は約60人の皆さまにお世話になりました。

学習では、かけ算九九の聞き取り、校外学習の引率、昔遊びの指導や読み聞かせなどの活動です。

学校生活では、花の苗植え、栽培活動の補助、学校外での登下校の見守り、交通安全指導、除雪作業などです。

かけ算九九の聞き取りでは、多くのボランティアの皆様にご聞いていただけるということで、子どもたちも自信をもって大きな声で言うことができます。校外学習の引率や登下校の見守り、そして、交通安全指導では、いろいろな場所で子どもたちの安全を守ってくださっていて、子どもたちが安心して学習を行い、生活を送ることができます。

ボランティアさんからは、子どもとのふれあいで元気をもらったと感想をいただいています。

来年度は、上灘小学校の応援隊100人のボランティアをめざして充実を図っていきたいと思います。

皆さまのご協力をよろしくお願いいたします。